

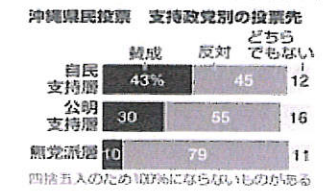
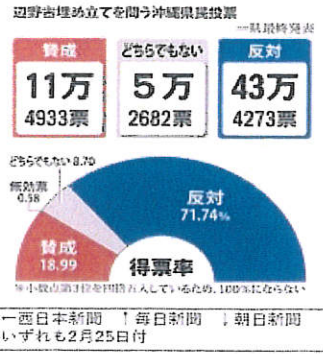
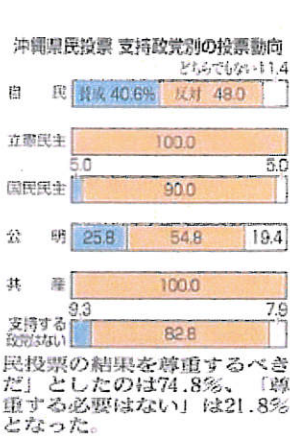


593号
〒144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2
日港福会館 5階
Tel 03(3733)5621 Fax 03(3733)5622
メール rouren@kensu.jp
ホームページ http://www.kensu.jp/
全国検数労働組合連合
書記局



政府は県民投票結果に従い、辺野古新基地工事中止を！

辺野古埋め立て反対 7割超の43万4273票



出口調査の方法 沖縄県内40カ所の投票所で実施。投票を終えた有権者の男性880人、女性880人の計1760人から回答を得た。

絶対には許されませぬ

「辺野古」の民意を政府が「ないがしろにする」とは絶対に許されませぬ。

デーン知事は2月25日に記者会見を開き、県民投票条例の規定に基づき「投票結果を尊重し、速やかに総理大臣およびアメリカ大統領に通知する」と述べました。辺野古移設を明言している安倍政権は、この民意を受け止め、ただちに埋め立て工事を中止し、沖縄の声に耳を傾けることが求められます。

2月24日投票された名護市辺野古米軍新基地建設の埋め立ての賛否を問う沖縄県民投票は「反対」が43万4273票（投票総数の71%）で昨年9月の沖縄県知事選挙で新基地建設反対を掲げて玉城デーン知事が獲得した39万4933票を大きく上回りました。

反対票は宮野湾市など全市町村で「反対」が多数を占め「賛成」は11万4933票、「どちらでもない」は5万2682票で投票総数は60万5385票、投票率は52%を超えました。

安倍政権は沖縄の民意に従え



3日間の行動を通じ、単に県民投票を促す宣伝活動ではなく、我物顔で立ち振る舞う米軍基地を沖縄からなくすことが真の平和につながるものである心に刻みながら宣伝行動に打ち込みました。また機会がありましたら積極的に参加していきます。

沖縄連帯支援行動に参加して

検数労連中央書記次長 石渡周二
2月15日〜17日までの3日間、沖縄県民投票支援行動に全労連の一員として瀬戸中央委員長と私の2名で参加してきました。

現地での具体的な行動は主に那覇市内で「県民投票に行こう」などの呼びかけの配布や街中のハンドマイク宣伝行動を終わりました。

こうした行動の中でも米軍機による低空飛行訓練などが繰り返されるなど異様な光景を目の当たりにして、微力ながら何とかしなければと思いました。



辺野古新基地建設断念求め 沖縄県民大会に1万人超

「土砂投入を許さない！ 辺野古新基地建設断念を求める県民大会」が3月16日、那覇市内で開かれ、1万人を超える人々が参加しました。

大会参加者は、「土砂投入をやめろ！」「民意は示された！」とのメッセージボードを高々と掲げ、県民投票で示された圧倒的民意を尊重し、同県名護市辺野古米軍新基地建設の埋め立てなどの工事の即時中止と、米軍普天間基地（同県宜野湾市）の即時運用停止などを求める決議を採択しました。



STOP! HENOKO

署名のご協力ありがとうございます

昨年12月5日から1月25日までの間に取り組みをすすめてきた「ストップ！辺野古」署名は、3月13日付で最終集約をおこなった結果、全国から155筆が集まりました。引き続き、検数労連は「平和な港、平和な職場」を希求する観点から、辺野古への土砂投入の中止を求めていくとともに、新基地建設反対、一日も早い普天間基地の閉鎖、撤去を実現させるため、たたかいを全国に広げていきます。また、昨年からの取り組みを続けている「安倍9条改憲NO！憲法を生かす全国統一署名」は、3月13日時点において1,253筆に達しています。